

令和元年度 第2回大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会記録《要旨》

1. 日 時 令和2年3月13日（金曜日）10：00～12：00
2. 場 所 大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 第二応接室
3. 出席者 加我委員長、清水副委員長、伊藤委員、玄野委員、権野委員、田中委員、藤本委員
4. 議 題
 - (1) 令和元年度 指定管理者の評価について
 - (2) 令和2年度 スケジュール（案）について
⇒事務局より説明
5. 主な議事内容
（太字：委員 細字：事務局）

(1) 令和元年度 指定管理者業務評価票案について

- ◇ No. 3の「文化・観光拠点形成・発信の取組み」及びNo. 4の「自然文化園・日本庭園の利活用、博覧会の遺産（レガシー）の利活用及び自然環境を活かした取組み」については、当初提案時の主要項目であった「WONDER BOX」設置の方針転換や、日本庭園の改修等の計画停滞があるにも関わらず、指定管理者が自己評価を「A」としているのは、認識が甘い。細かく指摘をしないと指定管理者自身が気付かない。意識がないことが問題。

具体的な改善案を早急に提出させるべきではないか。

⇒ 了解した。

「WONDER BOX」設置の方針転換に関して、「令和元年度 モニタリング評価実施による改善のための対応方針等」を作成させる。

- ◇ 次年度の事業実施計画について、早い段階で指定管理者へ直接ヒアリングする場を設けてほしい。

⇒ 令和2年度第1回評価委員会に向けて、ヒアリングの場を設けるよう調整する。

- ◇ 広報プロモーションが曖昧であり、実施にあたっては、集客も意識し、目的やインバウンドを含めターゲットを絞った戦略を構築すること。また、万博記念公園単独ではなく、日本政府観光局や大阪観光局と連携した取り組みを充実させるなど、効果的な情報発信を充実されたい。

⇒ 対応を検討する。

- ◇ No. 5「運動施設の利活用等の取組み」について、公園にあるスポーツ施設としてのあり方や運営方法を考慮しながら、利用者ニーズを適切に捉え、健康増進の視点からも検討を進められたい。ファミリー層の利用が多く、子供が遊ぶ施設や運動施設が数多くあることから、熱中症対策の強化も必要。

⇒ 対応を検討する。

- ◇ 新型コロナウイルスによる来園者の減少に伴う収入の減少は大きなリスク。民間企業ならではのリスク回避策など、今後、同様の事態が発生した場合のリスクマネジメントの検討が必要。新型コロナウイルスの影響で、学校にも行けず、ストレスが溜まっている子供も多い。公園は心のケアができる空間でもあり、危機事象が起こった際、日常利用としての公園の役割も認識されたい。

⇒ 了解した。

(2) 令和2年度 スケジュール（案）について

- ・事務局よりスケジュールについて説明

⇒ 了承